



年頭にあたつて



明けましておめでとうございます。希望に満ちた新春を迎え、皆様方の御健康と御多幸をお祈りいたします。

さて、昨年を振り返る時、正に一瞬の内に過ぎ去った感がいたします。これもグローバル社会の時代、全てが地球規模の中で考え決断していくかなければならぬ変化の激しい社会が定着したからと思ひます。

こうした時、我が國も政権が変わり、まず財政の健全化を第一に掲げ「アベノミクス」を中心に据え数々の施策を打ち出しています。その成果も、徐々にではあります、感じられる様になつています。

新年あけましておめでとうございます。

平成二十六年の輝かしい新春を迎えて、村民の皆様に議会を代表して謹んで年頭のあいさつを申し上げます。また、日頃は議会活動に対し暖かいご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

近年地球温度化・異常気象と言われていますが、昨年は冬が長く春を感じた、この異常気象の影響で四月に発生した凍霜害では柿や梨に被害が発生し、九月には台風十八号による豪雨により床上浸水一件、床下浸水二件を含め多くの土砂崩落による被害が発生し、被害額はおよそ六億五千万円とな



未来に前進する下條村

下條村議会議長 宮嶋清伸

りました、被害に遭われた方にはお見舞い申し上げます。

さて昨年中央リニア新幹線駅の位置が決まりましたが、これから工事が始まり残土処理や様々な諸問題が発生しますが下條村では一番に残土の引き受けを表明しました、これは平らな所の少ない下條村にとって土地の有効利用を図り未来に前進させる為にも必要だと私は考えます。

リニアの駅ができることは飯田に空港が出来る事であり、様々な視線で地域の皆で考え話し合う事が必要です、その事がただの通過駅になつてしまふか、魅力があり海外や全国から人が集まり活力ある地域になるかの境になります。

さて、政権が代わりアベノミクスという言葉をよく耳にしますが、その効果は都市部では出ているようですが地方までは届いていません、しかし景気が上向いたため消費税が増税されると言われていますが、これは後世に付けてはいけないと思いますが、それには国が無駄を省き我々にも理解できる方をして、住民が安心して生活で

議会も、行政のチェック機能だけでなく、勉強会をはじめ各種研修会に積極的に参加して議員の資質向上を図り提案型の議会を行い未来に前進する下條村づくりに取り組んでまいります。

本年が皆様にとって平穏で実り多い年でありますようお祈りして、年頭のあいさつといたします。

きる国づくりに期待するものです。国、県においては依然として厳しい財政状況下にあり、国の借金が一千兆円を突破しました。そんな中、高度成長期に建設されたインフラの老朽化対策が急務となり、今後ますます住民の生活コストが増すと予測されます。下條村では伊藤村長の長年の行政手腕により七十五歳以上の高齢者の医療費自己負担分の三十%補助、住宅のリフォーム・耐震工事、若者定住促進として新增改築の補助など幅広い施策を継続すると共に、本年春には待望の小学校のプールと武道センターが完成して、さらに住みよい下條村をめざしております。



下條村長 伊藤喜平

明けましておめでとうございます。希望に満ちた新春を迎え、皆様方の御健康と御多幸をお祈りいたします。

さて、昨年を振り返る時、正に一瞬の内に過ぎ去った感がいたします。これもグローバル社会の時代、全てが地球規模の中で考え決断していくかなければならぬ変化の激しい社会が定着したからと思ひます。

こうした時、我が國も政権が変わり、まず財政の健全化を第一に掲げ「アベノミクス」を中心に据え数々の施策を打ち出しています。その成果も、徐々にではあります、感じられる様になつています。

財政の健全度は全国上位から四位（四年連続）こうした財政基盤を基に、出費の増大する事が予想される社会の中で、子育て、教育、産業活性化、長寿化時代の福祉医療等に適切に対応して参ります。

又皆様が久しく慣れ親しんだ小学校の「プール」「武道センター」も三月には完成し、教育環境のより充実を計ります。

今最大の話題は「リニア」です。

暗い話題が目につく昨今ですが、当村は国・県・関係の皆様の格別なる配慮、そして何よりも全村民の力強い御協力により、希望も持てる村に変貌しつつあります。この事に心から感謝申し上げ、今年が更に良き年であります様お祈りいたし、新年のごあいさつといたします。

長寿化社会に対応する施設も、今年は北又地籍に一ヶ所、来年に埋め、出来上る広大な土地を、新たに大きな債務を先送りするのではなく、次の世代の皆さんが、夢と希望の持てる社会にしていただく絶好の機会と考えています。

当下條村も、村民の皆様が主役で今まで頑張って来られました。年末に配布いたしました「村の大ニュース」にお示しした様に、大ニュースにお示しした様に、

更に国道粒良脇トンネルも新たな計画も出来あがり、今地権者の皆様に御願いしているところです。県道、天竜公園阿智線も、いよいよ最後のトンネル（三三〇メートル）も掘削工事に入っています。

完成まであと十三年となりました。このトンネル工事で排出される土砂を「道の駅」の国道筋の谷間に埋め、出来上る広大な土地を、新たに大きな債務を先送りするのではなく、次の世代の皆さんが、夢と希望の持てる社会にしていた

夢と希望の持てる村へ